## 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和6年2月1日

事業所名 コペルプラス堺菩提 教室

保護者等数(児童数)61 回収数 26 割合 43%

		チェック項目	はい	どちらともい えない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保され ているか	24	2			イベント等人が多 いと感じる。	人数に応じて部屋を 分け、時間差でプレイ ルームを使用していま す。
境 ·	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	25			1		
体制整備	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	23	2		1	集中しやすいシン プルな配置。見 通しがつく提示が されている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境 となっているか。また、子ども達の活動に合わせ た空間となっているか	26				いつもきれいに掃 除されている。	
	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	26					
適切な支援の	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	26			1		
の 提 供	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われて いるか	25			1		
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されて いるか	25			1	いつも工夫されて いる。	
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流 や、障害のない子どもと活動する機会がある か	14	4	5	3		今後機会を設け発信 して参ります。
保護	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説 明がなされたか	26					

者への説明等	11)	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか  保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	26				企画され情報交 換の場がある。	
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理 解ができているか	25			1	定期的な面談 以外不安があれ ば相談できる。	
	14)	定期的に、保護者に対して面談や、育児に 関する助言等の支援が行われているか	25			1		
	(15)	父母の会の活動の支援や、保護者会等の 開催等により保護者同士の連携が支援され ているか	19	3	1	3	就学前の交流 会がありがたかっ た。	
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	25	1				
	17)	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達 のための配慮がなされているか	26					
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務 に関する自己評価の結果を子どもや保護者 に対して発信されているか	23			3	HUG など活用で きる。	一層周知いたします。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	23	1		2	注意されている。	
非常時等。	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	23	3		1		丁寧に説明いたします。
の 対 応	21)	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出、その他必要な訓練が行われているか	24	1		1	避難訓練に参加している。	
満	22	子どもは通所を楽しみにしているか	23	3				
足度	23	事業所の支援に満足しているか	25	1			とても大満足です。	

り事業所の評価を行って	いただき、その結果を	を集計したものです。	o	